CAM SHAFT 取扱説明書

商品番号　　：０１－０８－０００８
適応車種　　：ＣＵＢ１１０
フレーム番号：ＪＡ０７－１０００００１～

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解した上でご使用下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特　徴

ノーマルエンジンに取り付けるだけで中、高速域の出力がアップします。
また、当社製マフラーを取り付ける事により更なる出力アップが可能です。
純正と同じくデコンプレッションを装備していますので軽いキック力でエンジン始動が可能です。

！空燃比についてのご注意！

当社製ボンバーマフラーと同時に使用されますと空燃比が適正値とならず、エンジン破損の可能性があります。必ず当社製ＦＩ.ＣＯＮを同時に装着して下さい。

⚠注意　下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。
（部品の破損、ケガの原因となります。）
・点検、整備は、定期的に行って下さい。
（点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。）
・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
（損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。）

⚠警告　下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。
（不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

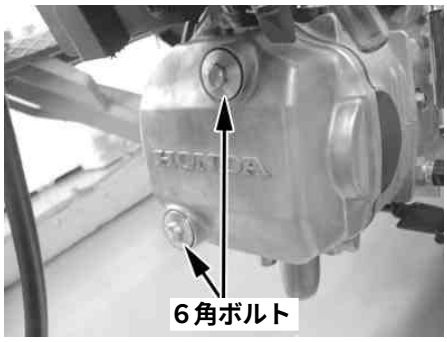
品　　名	個数
カムシャフトＣＯＭＰ．	１

Jul./20/ 10

～取　り　付　け　要　領～

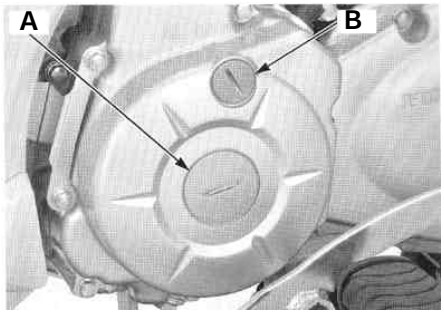
○シリンダーヘッドカバーを取り外す

◇６角ボルト２個を反時計方向に回し取り外す。



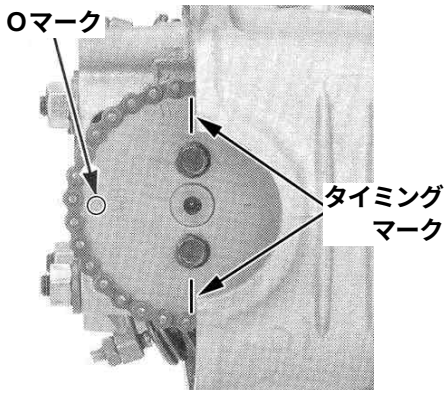
○クランクケース左カバー取り外す

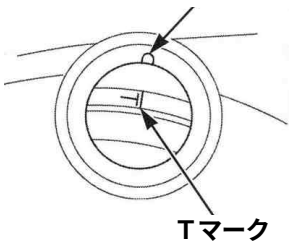
◇Ａ、Ｂの２つのホールキャップを反時計回りに回して外す。



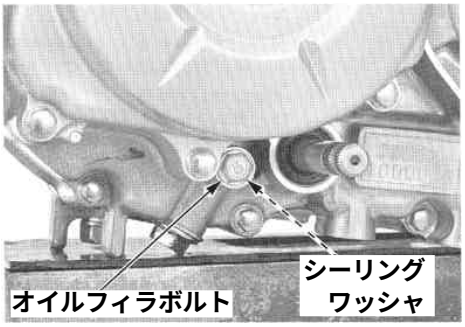
○カムスプロケットを取り外す

◇フライホイールのＴマークとカムスプロケットのＯマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



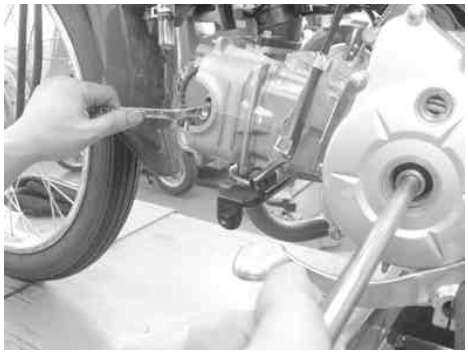


◇チェンジペダルシャフトの横にあるオイルフィラボルトを取り外す。
（カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンが取り付け易くなります。）



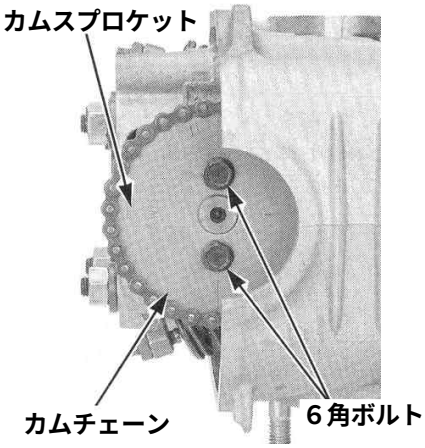
少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

◇フライホイールを固定しカムスプロケット６角ボルト２個を反時計方向に回し取り外す。



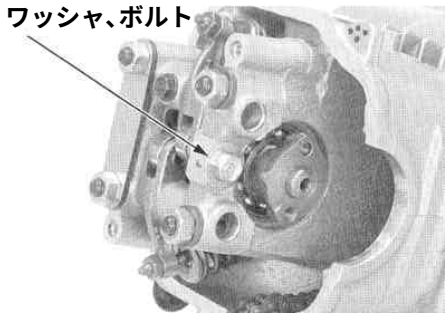
◇カムスプロケットをカムシャフトから外す。

◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。



◇シリンダーヘッドよりワッシャ、ボルト、カムシャフトを取り外す。

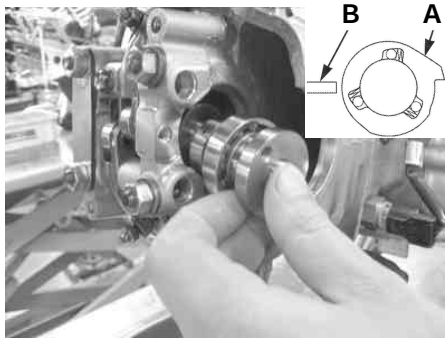
※カムシャフトの取り外し、取り付けが出来無い場合はシリンダーヘッドナット４つを緩める事で取り外し、取り付け出来ますが、その場合はヘッドガスケットの交換が必要になります。



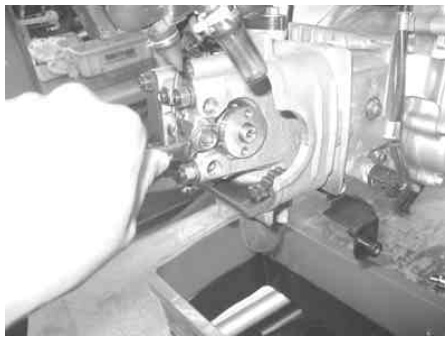
○カムシャフトを取り付ける

◇キットのカムシャフトを取り付ける。
カムシャフト・カムシャフトベアリング・デコンプにきれいなエンジンオイルを塗布し、カム山を燃焼室に向けた状態でシリンダーヘッドに取り付ける。
入り難い場合でもハンマー等は使用しない事。

※デコンプレッションカムの突起「Ａ」をプランジャ「Ｂ」に当らない位置にして取り付ける事。



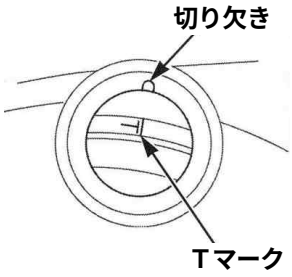
◇取り外したワッシャ、ボルトを取り付ける。
ストッパープレートボルト
１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



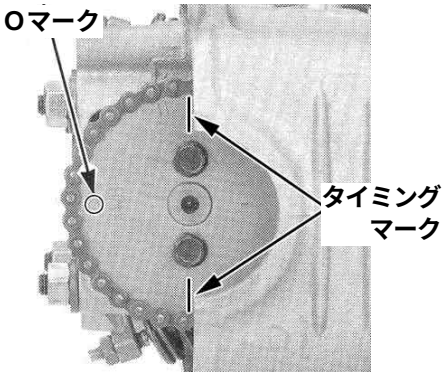
○カムスプロケットの取り付け

◇フライホイールのＴマークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。

◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。



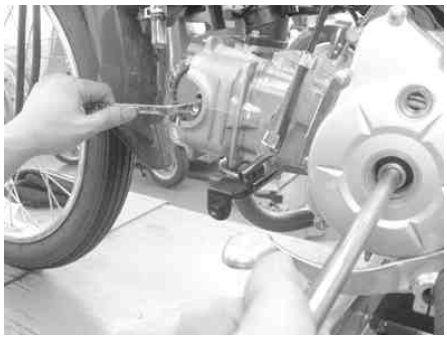
◇カムスプロケットの‘Ｏ’マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、カムチェーンをかける。



◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを２本締め付ける。

締め付けトルク

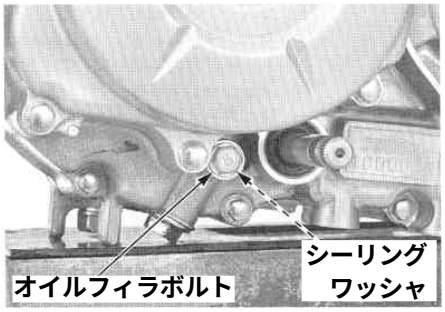
９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）



◇チェンジペダルシャフトの横に先程外したオイルフィラボルトを取り付け、締め付ける。

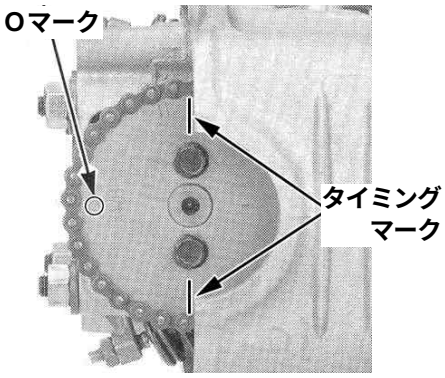
締め付けトルク

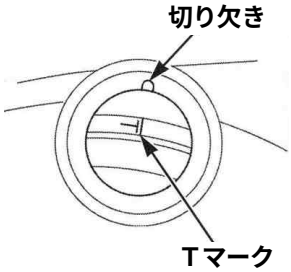
１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



○バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

◇クランクシャフトを反時計回りに２回転し、フライホイールのＴマークとケースの切り欠き部とタイミングスプロケットマークが前方を向いた状態で合わせマークが合っているかを確認する。



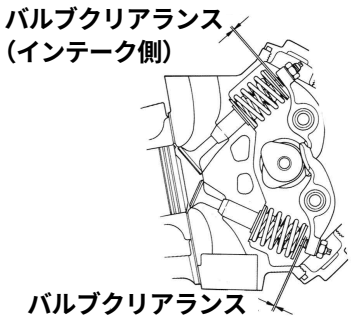


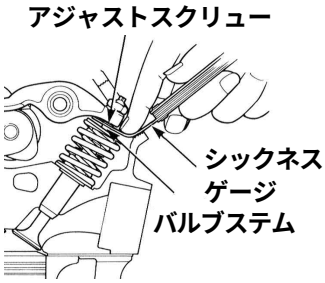
◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。

ＩＮ／ＥＸ：０.１０±０.０２mm

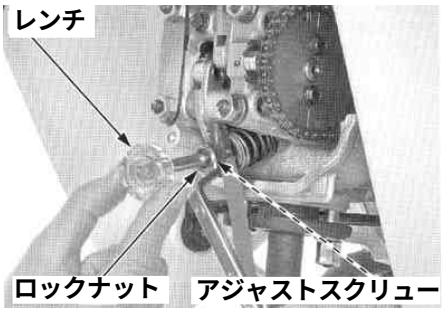
◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転回した後でＴマークとＯマークタイミングマークを合わせる。

◇タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればＯＫ、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。





タペットアジャスト

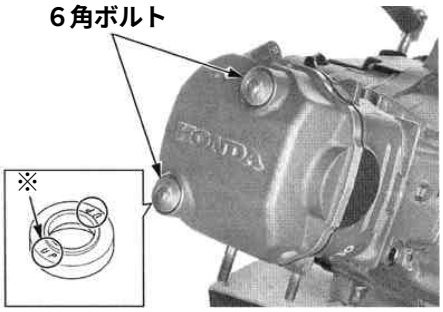


○シリンダーヘッドカバーを取り付ける

◇６角ボルト２本を締め付ける。

締め付けトルク

１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



※ＵＰ文字をボルトのフランジに向けて取り付ける事。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号

ＴＥＬ ０７２１－２５－１３５７

ＦＡＸ ０７２１－２４－５０５９

お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７

ＵＲＬ http://www.takegawa.co.jp